

愛知スキー協通信 No.377

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2026年7月1日
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL.052-201-4801(Fax 共)

e-mail:aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集： イエティ SC

来期の方針案に対する意見を募集しています。

楽しいクラブづくりに知恵を出し合いましょう。

クラブの役員、スキー協理事などに意見ををお願いします。総会に出席して下さい。
愛知スキー協55期(2026年7月～2027年6月)方針(案)

スキーの楽しさ、すばらしさを広げよう

「要求に応えた活動と会員拡大で、クラブと愛知スキー協を元気にしよう」＝メインテーマ

A「いきいき たのしいクラブをめざそう」

① クラブでは

- ・ クラブ単位の活動を充実させよう。
- ・ クラブは、自分がしたいことを実現する場です。提案し、役員会を開いて相談しよう。
- ・ ニュースを発行し、クラブ員や他のクラブに情報を広め交流しよう。
- ・ 周りのスキーヤーが参加しやすい工夫と新しい企画を考えよう。
- ・ 安いリフト券の紹介など費用を抑える工夫をしよう。
- ・ クラブの特長をいかし、充実させよう。
- ・ 指導員・山スキーリーダーが率先して自分のクラブを盛りあげよう。
- ・ 楽しいクラブ行事をSNSなどで発信し、クラブ員を増やそう。クラブで目標をたててとり組もう。
- ・ 安全対策を考えて行事を工夫しよう。

② スキー協会員である 自覚を高め合おう

- ・ スキー協だから、常に技術論と組織論の両立をします。
- ・ 楽しい行事、役に立つ行事を企画します。
- ・ 運営の中心になってクラブを充実・継続・拡大します。

③ 興味が持てる情報を、早く、正確に収集し、会員に提供します。

④ ファミリーで参加できる行事を企画します。

クラブとフェスティバル実行委員会で提案して、具体化します。

愛知スキー協第55期定期総会 7月5日(日)午後1時～

会場：名古屋市南生涯学習センター 視聴覚室

各クラブの代議員数(2025年9月登録数による)

ぶなの木クラブ員 70 名⇒代議員 7 名 深雪クラブ員 34 名⇒代議員 4 名 個人 1 名⇒代議員 1 名
直滑降クラブ員 29 名⇒代議員 3 名 イエティクラブ員 21 名⇒代議員 3 名

B「スキーを続けるため各自のいろんな特技を生かしてスキー協を維持・発展させよう」

⑤ スキー協通信は、担当クラブが中心になって編集・印刷・発送に責任を持ちます。

- ・ 担当クラブにとって興味のある情報を編集します。
- ・ 理事会で記事内容を検討します。

⑥ スキー協のホームページ担当者を複数体制で充実させ、外部への発信力を強めます。

⑦ 理事や部長は、役員会・理事会に情報提供をします。

⑧ 高齢化に伴い、イメージ通りに体を動かさなくなっている自覚を促し、オフトレを推奨します。

⑨ 愛知で出来る事は愛知で開催します。

⑩ 技術部・競技部・山スキー部の活動を活発化しスノースポーツ愛好者を増やします。

⑪ スノーボード部は東海ブロックとして活動し、組織の確立をめざします。

C「楽しく、早く、うまくなりたい」

⑫ 基礎スキー技術・山スキー技術・競技スキー技術・指導力 の向上をめざします。

互いに習い、教え、競い合い安全なスキー、スノーボード技術を高めます
指導員・リーダーを増やし、その資質を高めます。

STTを開催しスキー技術の向上をめざします。

ポール練習会を開催し指導を工夫してスキー技術の向上をめざします。

D「出来るだけ らくに 安全で たのしい環境 をつくろう」

⑬ 楽しく、元気がでる会議にする

- ・ タイムスケジュールをはっきりさせ、時間を区切り、決めた時間内で決める習慣を養う。
- ・ 議論項目は、一つで行う。仮でも一定の結論をだす。
- ・ 異なる意見も受け止め、お互いの価値観やポジティブな意図を共有できるようにする。
- ・ 議論は、視野を広げる場と位置づける。正解を押し付ける場ではない。

⑭ クラブだけで出来ないことは、他のクラブと協力して実現しよう。

⑮ 愛知だけで出来ない事は、東海ブロックで実現しよう。

⑯ スノーフェスティバル実行委員会で各コースを充実・成功させ、クラブ員を増やそう。

全国の活動を学び協力して

⑰ 新日本スポーツ連盟の活動を学び、スポーツのひろばの購読をすすめます。

⑱ 全国スキー協議会、他のブロックとの協力共同の体制を強めます。

⑲ スキーマイトの購読を進めます。

⑳ 地球温暖化対策を取り組もう。このことについてクラブで話し合い実践につなげよう。

未来の子どもたちのために美しい地球を守る意識をもった生活を送ろう。

全国スキー協で作成したペナントと幟旗を活用するとともに、「マイボトル」運動を進めます。

㉑ 平和であってこそスポーツを楽しめます。創意工夫した取組をすすめましょう。

今年はペタボード 深雪スキークラブ総会

6月21日(日)東海市しあわせ村で第48回総会を開きました。

午前中、今年はペタボード。総会では昨年モルック・一昨年ボチャと楽しい軽運動スポーツを体験してきました。今年は静岡県発祥のスポーツ「ペタボード」をしました。ボチャとカーリングを合わせたような競技です。最初にスティックを使って的球を打ちその後交互に白玉(ディスク)を6球打ち、的球に近い方の数が得点になります。8回行い総得点で争います。盛り上がりました。

午後総会で議事も順調に進み、交通費、スキー環境への取り組み、LINEの活用、年間行事等話し合いました。会長は、スキーに行けないかも知れない児玉さんが引き続き引き受けてくれました。スタッフもほぼ留任で会計監査が変わりました。近況を話して終了しました。 文責澤田



「ペタボード」



日本中 歩いてアピール スゴイ！

No War!
なくそう核兵器！
守ろう憲法 9 条！

今年で 69 回目となる原水爆禁止国民平和大行進です。

5/30(土)静岡県から愛知県へ引き継がれました。この日の最終地点は桜ヶ丘高校(豊橋市内)での学校ぐるみの歓迎集会。生徒会の代表が「私たちの当たり前の日常が平和」の発言に、参加者は大きな拍手で応えました。5/31(日)碧南市役所の出発集会には、Instagramやデモ・カレンダーを見て来たという高校生たちや若い女性、プラカードやシャボン玉を手にした親子連れも参加。

(以上はうたごえ新聞愛知版、平和新聞愛知版からの抜粋)

高校生や若い人、親子連れの参加に本当にうれしい気持ちになりました。

私たち愛知スキー協からは6/7(日)9:00中村公園豊国神社～12:00名古屋駅へのコースにスキー協



の旗を持って参加。このコースは全体で100名くらい。公園でばったり直滑降の会員さんと会い、合計4人(深雪2人、直滑降2人)の参加となりました。スキー協の旗を見て、中村区在住の元クラブ員や知人がやってきて、「中村までよく来たね」と、久しぶりの遭遇に近況を報告しあう事も出来ました。途中から小雨になり、多少濡れましたが「なくそう核兵器、守ろう憲法9条」とコールしながら名古屋駅まで歩きました。今度は「スポーツは平和とともに」と書いた旗がほしいと思いました。誰か作ってくれるといいな。(浅井)

「戦争が 立っていました 玄関に」 ー第19回平和大好きマラソンー



参加者全員で1枚

2026年6月7日(日)平和大好きマラソンが実施されました。参加者は、通常コース(24キロ)が9名、ショートコース(11キロ)が2名でした。スタッフ4名は車で移動。スタート時からあいにくの雨、でも小雨なので「暑いよりは走りやすい」とランナーからの声が届きました。

表題の川柳は、ある人の作品を引用。以前は、戦争が廊下の奥だったのが、もう玄関まで来ている。そんな状況の中で実施されたマラソン、ゼッケンを見た沿道の人から「平和の訴え、すごいですねー」と声が掛かかりました。

名古屋市内の戦争遺跡を巡るコースを事前に準備をしてきました。実行委員長の大塚氏(愛知県連盟理事長)は「案内、給水、弁当などの手配が大変。でも継続が大切、良いものは絶やさないことを心掛けている」と説明。参加者は、日常から練習を重ねていて、最高齢(76歳)の方は、今もウルトラマラソンに参加していて、週3回スポーツジムに通い、体力作りをしているとのこと。女性の方2名に聞いたら、過去には250キロを走ったこともあると聞き、びっくり。参加する魅力は?と聞いたら「1年に一度、みんなに会えること」と返事がありました。

コースの一つ、龍泉寺のお地藏さんは、顔が半分無かった。1945年5月のB-29の爆撃により、身体も真っ二つに割れたとの説明がありました。もう一つ、圓明寺(えんめいじ)の石の梵鐘(ぼんしょう)について、写真のように説明が書かれていました。「住職は、石の鐘を吊るすことにこだわりました。仏さまは怖くない、怖いのは人間です。…」そして短歌が添えられていた。「ありがたや 平和を願う石の鐘 仏の教え心に響く」と。平和の思いを繋いでいきたいと思いました。

最後は、名古屋市内を歩く平和行進の方たちと合流し、交流を深めました。2007年にスタートした「平和大好きマラソン」、継続することの大切さをかみしめた一日でした。

(みんなのスポーツあいちより抜粋)



石の梵鐘(ぼんしょう)

全国勤労者スキー協議会 関越ブロック



サマーセミナー in 宇都宮

学び、つながり、未来のスキーを考える2日間

2026年 8月22日(土)～23日(日) 会場：ホテル丸治 (栃木県宇都宮市泉町1-22)

🕒 タイムスケジュール ※特別講演以外は仮題です

8月21日(金) (希望者向け)

- 13:00 ホテル集合
オプション企画・非公式懇親会

8月22日(土)

- 13:30 開金 (受付 13:00～)
- 13:40～14:40
クラブや県スキー協を活性化させるためには？
～元気なクラブの取り組み事例からヒントを！～
- 15:10～17:00
スキーのイメージトレーニング
講師：荻原 正治 (副会長)
- 18:00～ 交流会 (亀山先生も参加予定)



8月23日(日)

- 9:00～10:30
技術部長から教程技術を学ぼう！
～あなたはスキー教程にどのような方向を
目指してほしいと考えていますか～
講師：野瀬 孝 (技術部長)、岡田 章男 (技術教育局長)、
荻原 正治 (副会長)
- 10:50～12:20
スキーを未来につなぐために
～「雪なし県」の森林研究者が伝えたいこと～
講師：亀山 統一 (琉球大学助教)

※プログラムは変更になる場合があります。

特別講演

スキーを未来につなぐために
～「雪なし県」の森林研究者が伝えたいこと～



かめやま のりかず

亀山 統一 氏

(琉球大学助教)

沖縄で森林やマングローブを研究する
スキー歴46年の現役スキーヤーとして、
環境問題や気候変動の視点から
スキーの未来について考えます。



スキーマイトでおなじみの亀山先生による貴重な講演！
スキーと自然環境の未来と一緒に考えましょう。

希望者向けオプション企画



8月21日(金)

13:00 ホテルロビー集合
(バス代、入館料は実費)
路線バスを利用して
大谷資料館へ
巨大地下空間を体験！

夜は
餃子とカクテルの街・
宇都宮を満喫！
(自由参加)

8月22日(土)

9:00 ホテルロビー集合
宇都宮市内散策
(大谷石で作られた松が峰教会、
二荒山神社等)
LRTも乗れるかも？

※オプション企画の詳細は後日案内



対象

全国勤労者スキー協議会会員
※指導員は研修扱いになります



定員

50名
(先着順)



参加費 (1名あたり)

- 1泊2日 (講演、交流会費、宿泊代金) 22,500円
- 日帰り2日 (講演、交流会費) 14,500円
- オンライン (1日でも同額) 4,800円

※22日前泊希望者は別途追加あり



申込締切

2026年
8月10日(月)
必着



申込方法

所属スキー協を通じて
所定用紙でメールで申込み。
参加費の入金をもって
正式申込とします。

お問い合わせ

全国勤労者スキー協議会 関越ブロック事務局 (担当：伊藤)

✉ メール les_mise48@yahoo.co.jp

主催：全国勤労者スキー協議会 主管：関越ブロック